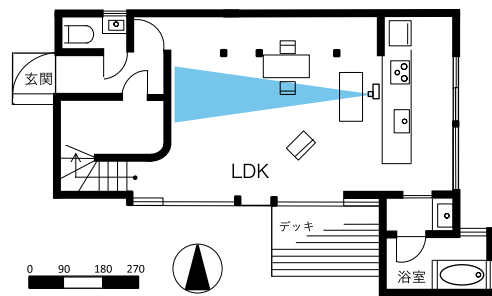




左/1階LDKの西側、納戸との間に設けられた大きな白壁をスクリーン代わりに利用。テレビのない空間はすっきりしている 右/1階・間取り図 床面積:51.74㎡(15.68坪)キッチン側から西側の塗装が施された壁面に大画面を投影している



暮らしを盛り上げる**迫力の大画面**

テレビをつける感覚でプロジェクターを満喫!

ホームプロジェクター「dreamio EH-TW6700W」●エプソン



映画はもちろんスポーツ観戦やゲームも。明るい室内でもくっきり色鮮やか

建築家の堀泰彰さんは奥様とふたり暮らし。「自宅で好きな映画を大画面で観ることに憧れていました」と語る堀さん。中古住宅の柱や梁を生かしながら再構築したという住まいの1階、キッチン上にプロジェクター本体を設置(天吊り)。西側の納戸とLDKを隔てる白い壁に映像を投影して大画面を楽しんでいる。「スクリーンがなくてもまったく問題ないですね。昼間の室内でも映像はくっきりと色鮮やか。最近では映画だけでなく、迫力いっぱいの大画面と音響でモータースポーツ観戦にハマっています」

『EH-TW6700W』ならブルーレイはもちろん、テレビ番組やパソコンの動画や画像、ゲームなども手軽に楽しむことができます。まさにテレビをつける感覚で大画面を満喫することができるといふわけだ。「ホームプロジェクターがあれば、正直いってテレビはいりませんね。実際、わが家ではリビングにテレビを置いていません」



映画館では見られない名画を鑑賞するのが趣味だというご夫妻。休日はいつもリビングでくつろぎながら大画面を楽しんでいる

また、接続が簡単なのも『EH-TW6700W』の大きな特徴。プロジェクター本体には電源をつなぐだけで、ワイヤレスで映像を伝送してくれるからブルーレイプレイヤーとプロジェクターを接続するケーブルなども一切不要だ。「壁や床の中に配線のための管を張り巡らせる必要がないので、これから家を建てる人にもおすすめです」

明るいリビングでくつろぎながら大画面映像を楽しむ堀夫妻。壁面に映し出された色鮮やかな映像はまるでインテリアの一部のようだ

テレビがないから室内がすっきり。空間を自由に使えるのも大きな魅力です

大画面のある暮らしをエンジョイされているおふたり。ホームプロジェクターの導入は、住まいづくりという点でも新たなメリットをもたらしてくれると堀さんはいう。「テレビの黒い大きな塊は、インテリアの一部になりにくいということもありますが、じつは住空間をイメージするうえでテレビはとても重要な位置を占めています。テレビがあると、まずその場所を決めてからソファやテーブルなど、家具の配置を考えていくこととなります。離れすぎても近づきすぎても見えにくくなってしまふからです。その点、プロジェクターはモニターがありませんし、比較的どこからでも見るすることができます。家具の配置なども融通が

効きますし、空間をより自由に生かした暮らしが可能になります」

プロジェクトのある暮らしを考えると、光の反射を抑えるために壁や天井の色はトーンを下げることをすすめているそうだが、投影する壁は真っ白ではなくても大丈夫。壁のスペースに合わせて画面サイズや位置を自由に変えられるのもプロジェクターの魅力。ぜひ新築、リフォームの際に大画面のある暮らしを実現してみてください。

こだわり POINT!!

きれいな大画面を手軽に楽しむために!

暮らしの中で迫力の大画面を手軽に楽しみたい。そんな願いに応えるエプソンのホームプロジェクター「EH-TW6700W」にはさまざまなアイデアや機能が盛り込まれている。

棚置きもOK。どこでも観たいときに電源を入れるだけ

プロジェクター本体はコンパクトで前面排気なので棚置きも可能。キャビネットに収納し、観たいときに電源を入れるだけですぐ楽しむことができる。

ワイヤレスだから配線まわりがすっきり

プロジェクター本体は電源をつなぐだけでOK。ワイヤレスで映像を伝送するのでブルーレイプレイヤーとプロジェクターを接続するケーブルなどは不要だ。



プロジェクター本体の裏側(左)は電源コードが1本だけ。「WirelessHDトランスミッター」(右)とワイヤレスで接続。室内に配線を張り巡らすような必要もない



プロジェクター本体はキッチンの上、梁を利用して天吊り設置している

掘邸では白い壁に約100インチの大画面映像を投影。カーテンのないリビングでもくっきりと色鮮やかな映像を映し出している



明るさ 3000lm (有効光束)で、明るい部屋でも映像が楽しめる「ワイヤレス対応モデル EH-TW6700W」●オープンブライズ